< コロナ禍の中での保育>

今年に入り「新型コロナウイルス感染症が日本にも!」とかと思っていると同時に、あっという間に感染が広がってしまい、自粛が叫ばれ、行事も縮小や中止になってしまいました。卒園式、入園式の簡素化。遠足や保育参観は中止、など。しかし、夏を迎えるころには、やっとひとつひとつの行事について、なるべく中止にしない方法で工夫をしながらやっていく段取りがとれるようになりました。それでも園児と保護者が集う恒例の「つくんこまつり」や遠足は中止。年長児のおとまり保育は延期としました。夏のプール遊びも、1回に入る人数を少なくして行いました。これまでいろいろな形で自粛を強いられていた子どもたちも、プールの中では、ときほぐされたように満面の笑みで楽しむ姿が見られ、「プールができて本当に良かった!」と思いました。そして、運動会ですが、おとなの参加人数の制限をしながら、行うことができました。

コロナウイルス感染症が出始めた頃には、先の見えない状況での保育をどう行っていったら良いのか、学校は自粛で休校なのに、 保育園は開けるのか、など不安がいっぱいでしたが、伊東市は公私立保育園で統一した見解を持ち、保護者への通知文も「伊東市長名」で出しました。幸いにもこれまで伊東はコロナウイルスに感染した人も少なく、クラスターの発生もないため、保護者参加の行事の 中止はあるもののほぼこれまでとは変わらない保育を行うことができました。

運動会が終わって感じたことですが、運動会当日、たくさんの人に見られていることで、意識して力を出し切れていなかった子どもがいたように思えました。「保護者といっしょの遠足」「保育参観」「つくんこまつり」と、大勢のおとなに見られたり、いっしょに参加することを経験することで、運動会では、たくさんの人々がみている中、「はずかしいけど、がんばる」という姿が出たように思えます。子どもは、いろいろな経験を重ねて成長します。小さな変化ですがこれも、コロナウイルス感染症の影響と言えるのではないでしょうか。

これからしばらくは、コロナ禍での生活が続くでしょう。子どもたちの成長の妨げにならないような保育をどう作っていくのか、職員間で十分話し合っていきたいものです。

そしてこのコロナ禍の中で保育者はこれまで以上に神経を使って働いてきています。ウイルスを園に持ち込まない、持ち出さないため、自身の生活の自粛。園舎内の諸々の消毒、子どもたちの手洗い指導などなど、きりがないほどの雑務に追われています。政府は、衛生管理のために補助金を出していますが、それだけでなく、保育園で働く職員の待遇改善を根本から見直してほしいです。もっと余裕ある人員配置をしてほしいです。どんな状況下に置かれても心に余裕を持って保育ができる環境をつくっていきたいです。

今、これを書いている時間は給食後。4歳児以下はお昼寝に入ります。年長組は、先日掘ったお芋を焼き芋にするための落ち葉拾いに出かけます。心豊かに過ごせるこんな日常を大切に・・・。

理事長(つくし保育園園長) 平澤幸子

子育て支援センターつくしんぼ

〔 伊東ショッピングプラザ デュオ 1F 〕







〒414-0051

伊東市吉田584番地

Eメール: tukushi@rx.tnc.ne.jp

Tel 0557-48-7747 / FAX 0557-52-6505















秋晴れ・・・・(予定していた日は雨 天、予備日は晴天!良かった!!) みんな元気に楽しく最後まで頑張り ました。コロナでいつもより観客席 がまばらでしたが、保護者の皆様も たくさん応援してくれました。























開園して3年目にして、初め て自園での開催でした。 ちょと緊張気味でしたが、楽し んでいる姿が見られ、ほのぼ のとした運動会になりました。

子育て支援センターつくしんぼ



とっても気持ちの良い秋晴れの日に 小室山に遊びに行ってきました。

元気なお友だちと鯉や亀に餌をあげ、 広場を走り回ったり、とっても楽しく過ごし ました。

新型コロナウイルス流行の影響により通例の行事『つくんこまつり』が中止となり、それに代わる楽しい行事『スマイルフェスタ』を園内で開催しました。鈴木つばささんによるリモートライブやワクワクするお店(⋈®>▽<®)。◆♡クレープ屋さん、ゼリーすくい、森のジュース屋さん、くじ引き、みんなで楽しく盛り上がりました。



アクセス



つくし保育園ホームページアドレス

http://ito-tsukushikai.or.jp/tsukushi/



